

令和 2 年度収支予算の概要

本会は、新公益法人制度に準拠した公益法人会計基準（以下「平成 20 年会計基準」という。）を適用した、公益法人に求められる「損益ベース」の収支予算書を当協会会計処理規則（第 16 条第 4 項）「正味財産増減計算書に準ずる様式」により策定した。
また、公益法人には、①収支相償、②公益目的事業比率、③遊休財産という、いわゆる「財務三基準」を満たすことが求められ、予算はこの三基準をクリアしている。

1. 令和 2 年度の予算編成にあつては、令和 2 年度重点政策、重点事業の実現に向け、令和元年度の事業実績や成果・評価等を整理、分析のうえ、新規事業や継続事業について、できるだけ創意工夫や新たな業務の進め方などを取り入れた予算を編成に努めることとした。

○地域包括ケアシステムの実現に向けた県・国並びに日本看護協会が実施する委託事業や補助事業等の財源を積極的、かつ、有効に活用しつつ、本会理念の実現に向けた事業の推進に取り組むこととした。また、看護の存在価値、存在意義について、理解を深めるための「Nursing Now」のキャンペーンを通じて、積極的に協会の施策、事業の広報に努める。

○公益法人として、持続可能で健全な事業運営ができるよう事務局体制の見直しを行うとともに、今後の施設改修などを踏まえ、支出の合理化・効率化、財源の確保に努め、安定した協会運営に取り組むこととした。

2. 経常収益について

経常収益計 609,532 千円（前年度比 23,202 千円増 4.0%増）

（内訳）①受取入会金 18,000 千円

前年度と同じ 1,500 人を見込む。

②受取会費 77,550 千円（4,700 千円増）

前年度比 940 人増の 15,510 人の会員数を見込む。

③事業収益 490,851 千円（16,728 千円増）

県からの委託事業は、いばらきがん患者サポート事業など 10 事業で 126,995 千円を、受講料では、サードレベル開講に伴う認定看護管理者受講料等 43,288 千円、訪問看護ステーション等運営事業は利用者増による介護保険報酬、医療保険報酬の増加による 320,568 千円を見込む。

④雑収益等 9,803 千円（1,736 千円増）

事務室賃貸料（5 団体）等

3. 経常費用について

経常費用計 630,774 千円（前年度比 24,096 千円増 4.0%増）

- (内訳) ①公益目的事業会計 606,685 千円（25,568 千円増）
②収益事業等会計 8,302 千円（2,607 千円減）
③法人会計 15,787 千円（1,135 千円増）

4. 公益法人の財務三基準を満たす予算

令和2年度収支予算書は、公益社団法人の要件として本会に求められる次のような「財務三基準」をすべてクリアできる内容となっている。

- ① 収支相償の原則：公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれること⇔資金を蓄積していないこと

$$\Rightarrow \boxed{\text{収入（経常収益）} 589,806 \text{ 千円}} < \boxed{\text{（経常費用）} 606,685 \text{ 千円}}$$

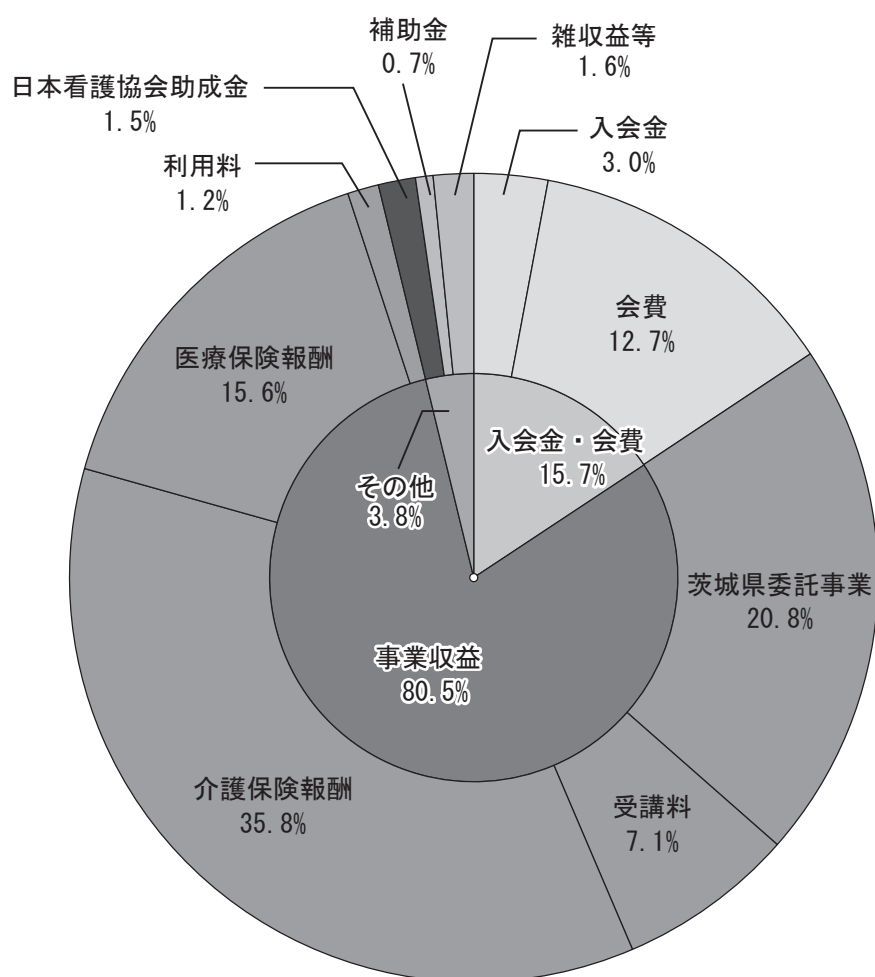
- ② 公益目的事業比率：50%以上（公益目的事業比率が100分の50以上となると見込まれるものであること）

$$\Rightarrow \frac{\text{公益目的事業の経常費用 } 606,685 \text{ 千円}}{\text{全体の経常費用 } 630,774 \text{ 千円}} \div 96\% \geq 50\%$$

- ③ 遊休財産額保有制限：法人純資産のうち、使途の定まらないものの額が公益目的事業に係る費用を超えないこと

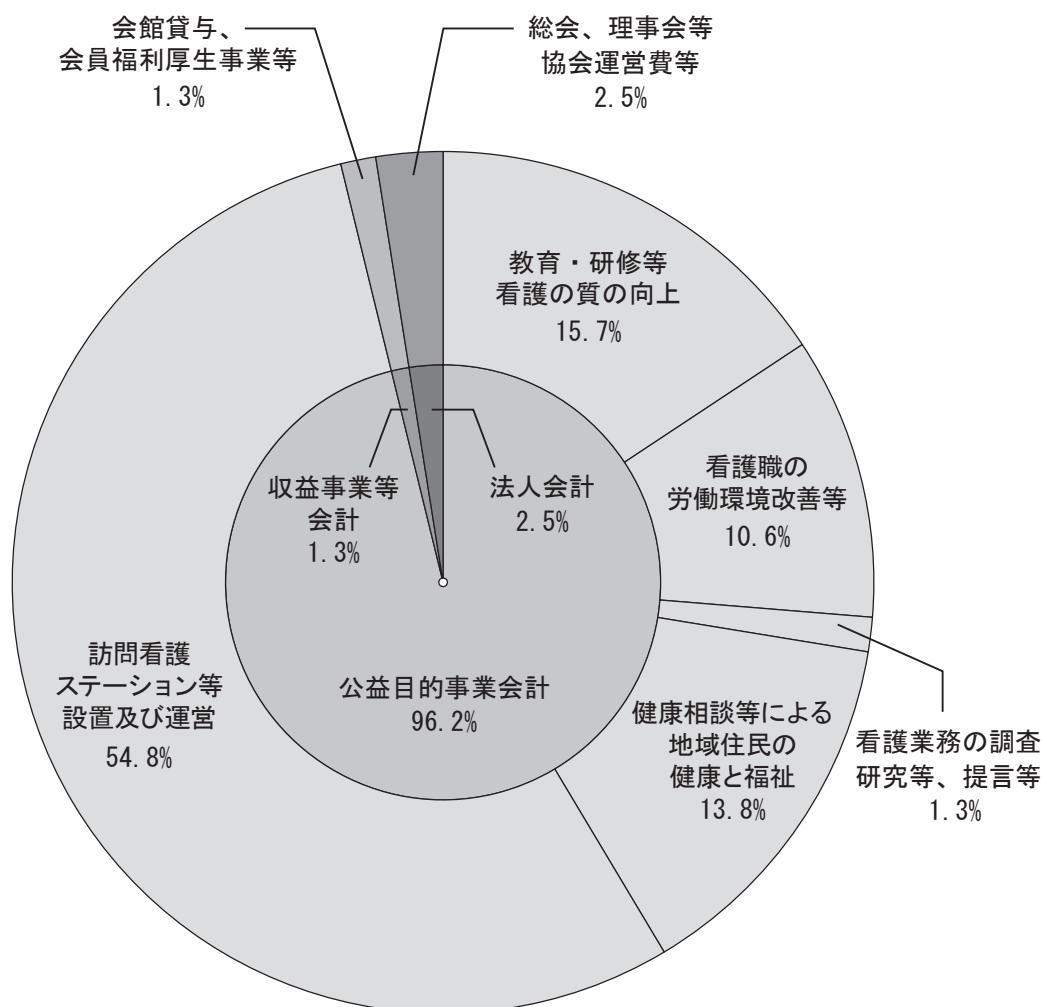
$$\Rightarrow \boxed{\text{遊休財産額 約 } 305,900 \text{ 千円}} \leq \boxed{\text{公益目的事業の経常費用 } 606,685 \text{ 千円}}$$

【令和２年度 経常収益内訳（609,532 千円）】



科目	細目	金額(千円)	構成比(%)
入会金・会費	入会金	18,000	3.0%
	会費	77,550	12.7%
入会金・会費 計		95,550	15.7%
事業収益	茨城県委託事業	126,995	20.8%
	受講料	43,288	7.1%
	介護保険報酬	217,722	35.8%
	医療保険報酬	95,234	15.6%
	利用料	7,612	1.2%
事業収益 計		490,851	80.5%
その他	日本看護協会助成金	9,059	1.5%
	補助金	4,269	0.7%
	雑収益等	9,803	1.6%
その他 計		23,131	3.8%
合 計		609,532	100.0%

【令和２年度 経常費用内訳（630,774 千円）】



会計区分	定款事業名	金額(千円)	構成比(%)
公益目的事業会計	教育・研修等看護の質の向上	98,997	15.7%
	看護職の労働環境改善等	66,863	10.6%
	看護業務の調査研究等、提言等	8,132	1.3%
	健康相談等による地域住民の健康と福祉	87,288	13.8%
	訪問看護ステーション等設置及び運営	345,405	54.8%
公益目的事業会計 計		606,685	96.2%
収益事業等会計	会館貸与、会員福利厚生事業等	8,302	1.3%
法人会計	総会、理事会等協会運営費等	15,787	2.5%
合計		630,774	100.0%

収 支 予 算 書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	85,000	85,000	0
特定資産受取利息	85,000	85,000	0
② 受取入会金	18,000,000	18,000,000	0
受取入会金	18,000,000	18,000,000	0
③ 受取会費	77,550,000	72,850,000	4,700,000
受取会費	77,550,000	72,850,000	4,700,000
④ 事業収益	490,851,000	474,123,000	16,728,000
日本看護協会業務委託事業収益	0	0	0
茨城県委託事業収益	126,995,000	134,787,000	△ 7,792,000
受講料	43,288,000	30,150,000	13,138,000
介護保険報酬	217,722,000	211,037,000	6,685,000
医療保険報酬	95,234,000	90,253,000	4,981,000
利用料	7,612,000	7,896,000	△ 284,000
⑤ 受取助成金	9,059,000	8,757,000	302,000
日本看護協会助成金	9,059,000	8,757,000	302,000
⑥ 受取補助金等	4,269,380	4,533,380	△ 264,000
茨城県補助金収益	365,000	279,000	86,000
茨城県医師会補助金収益	0	350,000	△ 350,000
受取地方公共団体補助金振替額	2,841,422	2,841,422	0
受取民間補助金振替額	1,062,958	1,062,958	0
⑦ 受取寄付金	251,860	251,860	0
受取寄付金振替額	251,860	251,860	0
⑧ 雑収益	9,466,000	7,730,000	1,736,000
受取利息	30,000	30,000	0
雑収益	9,436,000	7,700,000	1,736,000
経常収益計	609,532,240	586,330,240	23,202,000
(2) 経常費用			
① 事業費	614,986,977	592,025,882	22,961,095
役員報酬	19,721,635	19,200,104	521,531
給料手当	202,362,479	181,583,035	20,779,444
臨時雇賃金	109,087,594	115,221,040	△ 6,133,446
退職慰労金	1,097,560	1,097,560	0
退職給付費用	6,890,725	8,403,661	△ 1,512,936
福利厚生費	46,323,335	46,455,522	△ 132,187
報償費	37,186,000	31,480,000	5,706,000
会館運営費	11,860,741	10,446,900	1,413,841
会議費	1,063,820	954,820	109,000

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
旅費交通費	14,040,600	13,956,200	84,400
研修費	1,000,000	1,048,000	△ 48,000
医療材料費	335,000	335,000	0
通信運搬費	14,196,830	15,551,030	△ 1,354,200
交際費	100,000	160,000	△ 60,000
減価償却費	21,409,988	23,676,265	△ 2,266,277
消耗什器備品費	2,047,000	1,920,000	127,000
消耗品費	13,719,900	11,200,000	2,519,900
修繕費	4,482,000	5,219,000	△ 737,000
印刷製本費	14,567,500	16,280,000	△ 1,712,500
燃料費	3,800,550	4,070,000	△ 269,450
光熱水料費	8,704,010	8,925,000	△ 220,990
賃借料	45,369,635	44,785,435	584,200
保険料	2,160,590	2,406,000	△ 245,410
租税公課	9,092,650	6,037,475	3,055,175
広告宣伝費	3,312,000	2,570,000	742,000
支払負担金	11,810,000	8,770,000	3,040,000
支払手数料	3,992,300	4,107,300	△ 115,000
委託費	2,253,000	2,268,000	△ 15,000
食糧費	2,841,000	3,729,000	△ 888,000
施設維持費	0	0	0
雑費	158,535	169,535	△ 11,000
② 管理費	15,786,750	14,651,748	1,135,002
役員報酬	1,647,565	1,637,256	10,309
給料手当	1,302,152	1,301,488	664
臨時雇賃金	2,031,206	2,002,960	28,246
退職慰労金	98,440	98,440	0
退職給付費用	37,643	111,439	△ 73,796
福利厚生費	653,391	436,328	217,063
報償費	882,000	882,000	0
会館運営費	349,869	323,100	26,769
会議費	481,180	480,000	1,180
旅費交通費	1,632,400	1,342,800	289,600
通信運搬費	836,170	972,800	△ 136,630
減価償却費	234,440	280,887	△ 46,447
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	313,100	320,100	△ 7,000
修繕費	20,000	15,000	5,000
印刷製本費	1,021,500	1,030,000	△ 8,500
燃料費	450	1,500	△ 1,050
光熱水料費	168,990	170,330	△ 1,340
賃借料	1,524,329	1,480,830	43,499
保険料	16,410	17,800	△ 1,390
諸謝金	2,221,000	1,101,000	1,120,000

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減
租税公課	100,350	110,525	△ 10,175
支払手数料	113,700	198,700	△ 85,000
委託料	60,000	282,000	△ 222,000
負担金			0
寄付金	0	0	0
雑費	40,465	54,465	△ 14,000
経常費用計	630,773,727	606,677,630	24,096,097
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,241,487	△ 20,347,390	△ 894,097
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	△ 21,241,487	△ 20,347,390	△ 894,097
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 特別収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 21,241,487	△ 20,347,390	△ 894,097
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高			
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高			

収 支 予 算 書 内 訳 表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公衆衛生の向上を目的とする事業	共通	小計	共益事業等	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 特定資産運用益	73,270	0	73,270	5,865	0	5,865	5,865	0	85,000
特定資産受取利息	73,270	0	73,270	5,865		5,865	5,865	0	85,000
② 受取入会金	15,480,000	0	15,480,000	360,000	0	360,000	2,160,000	0	18,000,000
受取入会金	15,480,000	0	15,480,000	360,000		360,000	2,160,000	0	18,000,000
③ 受取会費	66,693,000	0	66,693,000	1,551,000	0	1,551,000	9,306,000	0	77,550,000
受取会費	66,693,000	0	66,693,000	1,551,000	0	1,551,000	9,306,000		77,550,000
④ 事業収益	490,851,000	0	490,851,000	0	0	0	0	0	490,851,000
日本看護協会業務委託事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
茨城県委託事業収益	126,995,000	0	126,995,000	0	0	0	0	0	126,995,000
受講料	43,288,000	0	43,288,000	0	0	0	0	0	43,288,000
介護保険報酬	217,722,000	0	217,722,000	0	0	0	0	0	217,722,000
医療保険報酬	95,234,000	0	95,234,000	0	0	0	0	0	95,234,000
利用料	7,612,000	0	7,612,000	0	0	0	0	0	7,612,000
⑤ 受取助成金	9,059,000	0	9,059,000	0	0	0	0	0	9,059,000
日本看護協会助成金	9,059,000	0	9,059,000	0	0	0	0	0	9,059,000
⑥ 受取補助金等	4,137,802	0	4,137,802	71,450	0	71,450	60,128	0	4,269,380
茨城県補助金収益	365,000	0	365,000	0	0	0	0	0	365,000
茨城県医師会補助金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金振替額	2,745,666	0	2,745,666	51,998		51,998	43,758	0	2,841,422
受取民間補助金振替額	1,027,136	0	1,027,136	19,452		19,452	16,370	0	1,062,958
⑦ 受取寄付金	243,372	0	243,372	4,609	0	4,609	3,879	0	251,860
受取寄付金振替額	243,372	0	243,372	4,609	0	4,609	3,879	0	251,860
⑧ 雑収益	3,269,000	0	3,269,000	6,197,000	0	6,197,000	0	0	9,466,000
受取利息	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0	30,000
雑収益	3,239,000	0	3,239,000	6,197,000	0	6,197,000	0	0	9,436,000
経常収益計	589,806,444	0	589,806,444	8,189,924	0	8,189,924	11,535,872	0	609,532,240
(2) 経常費用									
① 事業費	606,684,947	0	606,684,947	8,302,030	0	8,302,030		0	614,986,977
役員報酬	19,606,241		19,606,241	115,394		115,394		0	19,721,635
給料手当	200,746,157		200,746,157	1,616,322		1,616,322		0	202,362,479
臨時雇賃金	108,509,911		108,509,911	577,683		577,683		0	109,087,594
退職慰労金	1,090,974		1,090,974	6,586		6,586		0	1,097,560
退職給付費用	6,844,000		6,844,000	46,725		46,725		0	6,890,725
福利厚生費	45,991,265		45,991,265	332,070		332,070		0	46,323,335
報償費	37,064,000		37,064,000	122,000		122,000		0	37,186,000
会館運営費	11,520,889		11,520,889	339,852		339,852		0	11,860,741
会議費	1,007,628		1,007,628	56,192		56,192		0	1,063,820
旅費交通費	13,771,640		13,771,640	268,960		268,960		0	14,040,600
研修費	1,000,000		1,000,000	0		0		0	1,000,000
医療材料費	335,000		335,000	0		0		0	335,000
通信運搬費	12,326,582		12,326,582	1,870,248		1,870,248		0	14,196,830
交際費	100,000		100,000	0		0		0	100,000
減価償却費	21,129,315		21,129,315	280,673		280,673		0	21,409,988
消耗什器備品費	2,047,000		2,047,000	0		0		0	2,047,000
消耗品費	13,158,260		13,158,260	561,640		561,640		0	13,719,900
修繕費	4,478,800		4,478,800	3,200		3,200		0	4,482,000
印刷製本費	13,582,900		13,582,900	984,600		984,600		0	14,567,500
燃料費	3,785,070		3,785,070	15,480		15,480		0	3,800,550
光熱水料費	8,540,653		8,540,653	163,357		163,357		0	8,704,010
賃借料	44,749,431		44,749,431	620,204		620,204		0	45,369,635
保険料	2,144,262		2,144,262	16,328		16,328		0	2,160,590
租税公課	8,995,510		8,995,510	97,140		97,140		0	9,092,650
広告宣伝費	3,312,000		3,312,000	0		0		0	3,312,000
支払負担金	11,810,000		11,810,000	0		0		0	11,810,000
支払手数料	3,880,420		3,880,420	111,880		111,880		0	3,992,300

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	公衆衛生の向上を目的とする事業	共通	小計	共益事業等	共通	小計			
委託費	2,253,000		2,253,000	0		0		0	2,253,000
食糧費	2,746,000		2,746,000	95,000		95,000		0	2,841,000
施設維持費	0		0	0		0		0	0
雑費	158,039		158,039	496		496		0	158,535
② 管理費							15,786,750	0	15,786,750
役員報酬							1,647,565	0	1,647,565
給料手当							1,302,152	0	1,302,152
臨時雇賃金							2,031,206	0	2,031,206
退職慰労金							98,440	0	98,440
退職給付費用							37,643	0	37,643
福利厚生費							653,391	0	653,391
報償費							882,000	0	882,000
会館運営費							349,869	0	349,869
会議費							481,180	0	481,180
旅費交通費							1,632,400	0	1,632,400
通信運搬費							836,170	0	836,170
減価償却費							234,440	0	234,440
消耗什器備品費							0	0	0
消耗品費							313,100	0	313,100
修繕費							20,000	0	20,000
印刷製本費							1,021,500	0	1,021,500
燃料費							450	0	450
光熱水料費							168,990	0	168,990
賃借料							1,524,329	0	1,524,329
保険料							16,410	0	16,410
諸謝金							2,221,000	0	2,221,000
租税公課							100,350	0	100,350
支払手数料							113,700	0	113,700
委託料							60,000	0	60,000
寄付金							0	0	0
雑費							40,465	0	40,465
経常費用計	606,684,947	0	606,684,947	8,302,030	0	8,302,030	15,786,750	0	630,773,727
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,878,503	0	△ 16,878,503	△ 112,106	0	△ 112,106	△ 4,250,878	0	△ 21,241,487
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0		0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0		0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0	0
当期経常増減額	△ 16,878,503	0	△ 16,878,503	△ 112,106	0	△ 112,106	△ 4,250,878	0	△ 21,241,487
２．経常外増減の部									
（１）経常外収益									
① 特別収益	0	0	0	0	0	0		0	0
受取災害義援金	0	0	0	0	0	0		0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0	0
（２）経常外費用									
① 特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払災害義援金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中科目別記載			0			0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 16,878,503	0	△ 16,878,503	△ 112,106	0	△ 112,106	△ 4,250,878	0	△ 21,241,487
一般正味財産期首残高									
一般正味財産期末残高									
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
一般正味財産への振替額									
当期指定正味財産増減額									
指定正味財産期首残高									
指定正味財産期末残高									
Ⅲ 正味財産期末残高									

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		☐ あ り	☒ な し
事業番号	借入先	金額	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		☐ あ り	☒ な し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途

公益社団法人茨城県看護協会
令和2年度収支予算書説明資料

公益法人予算の基本的な考え方

- 公益法人会計基準を適用した予算編成といたしました。
- 公益社団法人に求められる収支予算書は、収益(正味財産の増加)・費用(正味財産の減少)の「損益ベース」の収支予算書とされ、当協会会計処理規則(第16条)に「正味財産増減計算書に準ずる様式」により作成すると定められています。
- 公益法人には、①収支相償 ②公益目的事業比率 ③遊休財産額の保有制限という、いわゆる「財務三基準」を満たすことが求められています。

予算編成方針

- 令和2年度重点政策、重点事業の実現に向け、令和元年度の事業実績や成果・評価等を整理、分析のうえ、新規事業や継続事業について、できるだけ創意工夫や新たな業務の進め方などを取り入れた予算編成に努めることとしました。
- 地域包括ケアシステムの実現に向けた県・国並びに日本看護協会が実施する委託事業や補助事業等の財源を積極的、かつ、有効に活用しつつ、本会理念の実現に向けた事業の推進に取り組むこととしました。また、看護の存在価値、存在意義について、理解を深めるための「Nursing Now」のキャンペーンを通じて、積極的に協会の施策、事業の広報に努めます。
- 公益法人として、持続可能で健全な事業運営ができるよう事務局組織体制の見直しを行うとともに、今後の施設改修などを踏まえ、支出の合理化・効率化、財源の確保に努め、安定した協会経営に取り組むこととしました。

令和2年度収支予算のポイント(1)

経常収益(科目別内訳・対前年度比較)

(単位:千円)

科目	2020予算額	%	2019予算額	差異
受取会費・受取入会金	95,550	15.7%	90,850	4,700
事業収益	490,851	80.5%	474,123	16,728
受取助成金	9,059	1.5%	8,757	302
受取補助金	4,269	0.7%	4,533	▲264
雑収益等	9,803	1.6%	8,067	1,736
経常収益計	609,532	100%	586,330	23,202

令和2年度の経常収益予算額は609,532千円で、前年度予算額に比べ、全体としては23,202千円4%の増収となる見込みです。

受取会費・受取入会金については、入会金として、新規会員を前年度と同じ1,500人で18,000千円を、会費は会員数を940人増の15,510人77,550千円を見込んでいます。会費と入会金を合わせて95,550千円で、前年度に比べ4,700千円5.2%増加しています。

事業収益は、県からの委託事業として、いばらきがん患者サポートセンター事業24,617千円など10事業で126,995千円を見込んでおります。介護保険報酬等は、2019年度事業所の実績等を勘案し、320,568千円、受講料では、サードレベル開講に伴う認定看護管理者教育課程受講料等43,288千円を見込んでいます。

受取助成金は、日本看護協会からの教育事業等9,059千円、受取補助金は、看護職員就業相談員派遣面接事業等4,269千円、雑収益等は、保健衛生会館事務室賃貸料等9,803千円です。

令和2年度収支予算のポイント(2)

経常収益(科目別・会計区分別内訳)

(単位:千円)

科目	合計	公益目的	収益事業	法人会計
		事業会計	等会計	
受取会費・受取入会金	95,550	82,173	1,911	11,466
事業収益	490,851	490,851	0	0
受取助成金	9,059	9,059	0	0
受取補助金	4,269	4,138	71	60
雑収益等	9,803	3,585	6,208	10
経常収益計	609,532	589,806	8,190	11,536

経常収益の会計区分別内訳は、公益目的事業が589,806千円(96.8%)、施設の貸与等の収益事業等会計が8,190千円(1.3%)、総会や理事会等看護協会運営の法人会計が11,536千円(1.9%)となっています。

経常収益に対する公益目的事業会計の比率が96.8%と基準の50%を超えているため、基準を満たしています。

本会定款細則による入会金及び会費の合計額の30%以上を公益目的事業会計に使用することとなっているが86%を組み入れていることから、基準を満たしています。

令和2年度収支予算のポイント(3)

経常費用(会計区分別内訳・対前年度比較)

(単位:千円)

区 分	2020予算額	%	2019予算額	差異
公益目的事業会計	606,685	96.2%	581,117	25,568
収益事業等会計	8,302	1.3%	10,909	▲2,607
法人会計	15,787	2.5%	14,652	1,135
合計	630,774	100%	606,678	24,096

令和2年度の経常費用の予算額は、630,774千円で前年度予算額に比べ、24,096千円4%の増となっています。

経常費用の会計区分別の内訳は、公益目的事業会計が606,685千円(96.2%)で前年度に比べ25,568千円4.4%増、施設の貸与等の収益事業等会計が8,302千円(1.3%)で前年度に比べ▲2,607千円24%の減、総会、理事会等看護協会の運営に支出した法人会計が15,787千円(2.5%)で前年度に比べ1,135千円8%の増となっています。

令和2年度収支予算のポイント(4)

定款事業別経常費用(公益目的事業別・事業別内訳)

(単位:千円)

事業名	公益目的 事業会計	%
1. 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	98,997	16.4%
2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	66,863	11.0%
3. 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善への提言に関する事業	8,132	1.3%
4. 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業	87,288	14.4%
5. 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営	345,405	56.9%
経常費用計	606,685	100%

公益目的事業会計定款事業別の費用内訳は、次のとおりです。

- 1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業に98,997千円(前年度98,880千円)
- 2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業に66,863千円 (前年度68,863千円)
- 3 看護業務の調査研究及び情報収集並びに制度の改善への提言に関する事業に8,132千円 (前年度6,688千円)
- 4 健康相談、情報提供等による地域住民の健康と福祉に関する事業に87,288千円(前年度77,926千円)
- 5 地域ケアサービスを実施する訪問看護ステーション等の設置及び運営345,405千円(前年度328,760千円)

令和2年度予算と財務3基準①収支相償

収 入	費 用
公益目的事業に係る経常収益	公益目的事業に係る経常費用
589,806千円	606,685千円

<

本会の令和2年度収支予算と公益法人の財務3基準の適合状況について

①収支相償については、公益目的事業に係る収入が、その実施に要する費用を超えないことが、要件となっています。

本会の収支予算書における公益目的事業の経常収益は589,806千円で公益目的事業の経常費用の606,685千円を超えない見込みであり、この基準を満たしています。

令和2年度予算と財務3基準②公益目的事業比率

$$\begin{array}{c}
 \boxed{\text{公益目的事業の経常費用}} \\
 \hline
 \boxed{\text{公益目的事業の経常費用}} + \boxed{\text{収益事業等の経常費用}} + \boxed{\text{法人会計の経常費用}} \\
 \hline
 \div 96\% \qquad \qquad \geq 50\%
 \end{array}$$

②公益目的事業比率については、公益目的事業費の比率が、収益事業等と法人の管理運営費用とを加えた事業費全体の50%以上であることが基準となっています。

本会の収支予算書における経常費用の合計630,774千円に対する、公益目的事業の経常費用606,685千円の比率が約96%と、事業費全体の50%を超える見込みであり、この基準を満たしています。

令和2年度予算と財務3基準③遊休財産の保有制限

遊休財産額※

約305,900千円
(暫定額)

≤

公益目的事業の

経常費用

606,685千円

※ 資産－負債－(控除対象資産－対応負債)

③遊休財産については、遊休財産(すなわち、用途の定まらない蓄積した財産)の額が、公益目的事業を行うのに必要な1年分の額を超えないこととされています。例えば、会館維持積立資産や、運営準備引当資産など本会が特定の用途のために保有している資産にも、遊休財産とみなされるものがあります。

遊休財産額は、令和2年度末見込みベースで算定した暫定額で、約305,900千円になる見込みです。公益目的事業の経常費用606,685千円を超えない見込みであり、この基準を満たしています。

本会の令和2年度収支予算は、公益法人の財務3基準をすべて満たした予算となっています。